

印西大師 第22番 平岡・東大寺

1 名称 (No.022)〔手引鏡：東大寺〕〔資料館：東大寺〕〔行程表：東大寺〕

2 場所 印西市平岡1230 東大寺

平岡・ドテから道程約1,570m

GPS座標 35.83516067349468, 140.17358145766326

3 由緒 天台宗 医王山 東大寺 妙覚院

東大寺は、天平勝宝9年・天平宝宇元年（757年）に南都東大寺の別当良弁僧正（華嚴宗）が創建したといわれています。境内（堂内）には、本尊阿弥陀如来像のほか、大日如来像、観音像、不動明王像などが安置されて祀られています。（千葉県公式観光物産サイトより）

4 御堂 左に第22番、右に第28番の札が貼られた大師堂の中に丸彫りの御大師様が計4体あり。印西市調査報告書によるとその中の1体は文政12年(1829年)造立とのこと。

5 境内 現本堂地、観音堂跡、薬師堂跡、不動堂跡、弁天地(池?)、境内墓地等があり、境内には、銀杏・紅葉・養老梅・朴(ほうのき)などの古木があり、祠堂は薬師堂・弘法大師堂、石碑としては六地藏仏・観音像・十三重塔・木下町出身戦没者供養塔などがあり、丸池は三界萬霊塔を中心に無縁塔が合祀され、その廻りに錦鯉が約百匹泳いでいます。（東大寺HPより）

6 写真 (2021.11撮影)



第22番と第28番の合同の大師堂



第22番の御大師様 (左側)



第28番御大師様 (右側)



銀杏の黄葉



御大師様2体 (中央)



本堂と鐘



十六羅漢

7 情報

(1) 印西大師 第22番 東大寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

平等に隔てのなきと聞くときは あら頼もしき佛とぞ見る

四国八十八ヶ所 第22番 高野山真言宗 白水山(はくすいざん) 医王院 平等寺(びょうどうじ)

本尊 薬師如来 (徳島県阿南市) 写し

(2) 東大寺の歴史

天正18年(1590) 兵乱にあい、慶長7年(1602) には、寺有地として、多宝院、明覚院、性善坊などを有しておりましたが、時農十軒足らずで、僧僅かでした。享保3年(1718) 3月上野輪王寺の令旨を奉け、市内泉倉寺の末寺になり、天台宗に転宗しました。何度も火災になり、最近では昭和18年(1943) 1月28日不審火にあい、すべて焼失し、同年梵鐘も供出されました。(中略) 昭和18年(1943) 茨城県利根町羽中 古田勝衛氏宅より、現本尊阿弥陀如来像を迎え、昭和23年(1948) 9月18日農地開放にあい、昭和45年(1970) 6月28日木下霊園を開設し、昭和58年(1983) 6月8日篤信者により、薬師如来像を迎え、平成元年(1989)10月29日現本堂を再建し、平成6年(1994) 2月17日茨城県利根町布川 吉田伸一郎氏寄進の観音菩薩像を迎え、平成8年(1996) 3月10日同上氏寄進の六地藏仏を迎えて今日にいたっています。(中略) 尚、現境内地は明覚院の院号であり、元僧房であったと考えられます。(東大寺HPより)

8 関連Web

○東大寺ホームページ <http://toudaiji.sakura.ne.jp/>

2024.08一部修正